



The Y's Men's Club of Gotemba

第331号 12月例会

- 国際会長主題 「全ての世界に出て行こう」(エクステンション、エクステンション、エクステンション)
 アジア地域会長主題 「未来を始めよう、今すぐに」(ひとつのアジア、世界はひとつ)
 東日本区理事主題 「いざ立て」(絶えせぬあて望み この身を捧げ尽くさん)
 富士山部部長主題 「誇りあるワイズメンを育てよう」
 御殿場クラブ会長主題 「一期一会の縁を大切に」 ふれあい・語らい・思いやり
 御殿場クラブ活動方針
 1.楽しい例会と卓話の充実
 1.親睦重視の活動
 1.東山荘をはじめ奉仕活動の充実
 1.DBC奈良クラブ・東海クラブとの交流
 1.メンバーの増強

会長 高杉 寿徳
 副会長 金光 京子・大和田 浩二
 書記 渡邊 芳子
 会計 前原 末子
 監事 井田 伸太郎

今月の聖句

ルカによる福音書2章6-7節

「彼らがベツレヘムにいるうちに、マリアは月が満ちて、初めての子を産み、布にくるんで飼葉桶に寝かせた。宿屋には彼らの泊まる場所がなかったからである。」

2013年12月度第一例会プログラム

- とき 2013年12月14日(土) 14:00より
 ところ 東山荘
 受付 前原 末子 Ys 高橋 啓子 Ys
 司会 杉山 将己 Ys
- | | | |
|----|-------------------|-----------|
| 1 | 開会点鐘 | 会長 |
| 2 | 開会の言葉 | 司会 |
| 3 | ワイズソング | 司会 |
| 4 | ワイズの信条 | 司会 |
| 5 | 聖句について | 大和田 浩二 Ys |
| 6 | 会長挨拶 | 会長 |
| 7 | ゲスト・ビジター・メネット紹介 | 会長 |
| 8 | 誕生日・結婚記念日祝い | 自己申告 |
| 9 | スマイル・YMCA基金・出席率報告 | |
| 10 | 閉会の言葉 | 司会 |
| 11 | 閉会点鐘 | 会長 |

他クラブ例会日一覧です。

例会日程、時間、場所の変更がありますので、例会参加の場合は長田ドライバー委員長へ連絡の上、ご出席下さい。

- 熱海クラブ 12月23日(月) 熱海後楽園ホテル
 沼津クラブ 12月10日(火) 沼津リバーサイドホテル
 伊東クラブ 12月9日(月) 暖香園ボウル
 三島クラブ 12月17日(火) 昭明館
 下田クラブ 12月18日(水) 下田東急ホテル
 熱海ローラー 12月25日(水) 熱海YMCAセンター
 富士クラブ 12月11日(水) ホテルグランド富士
 富士宮クラブ 12月24日(火) クリスタルホール『パテオン』

12月お誕生日おめでとう

- 30日 渡辺 芳子 Ys 1日 高橋 高義(パートナー)
 26日 井田 松江(メネット)

12月ご結婚おめでとう

自己申告して下さい。

11月例会報告

在籍数	23名	メネット	0名	スマイル報告	20,000	BF活動切手	0pt
出席者	14名	コメント	0名	スマイル累計	100,000	現金	0pt
メキップ	9名	ゲスト	1名	YMCA基金	1,919	累計	0pt
出席率	60.9%	ビジター	11名	YMCA累計	9,151		
修正出席率	100%	出席者合計	26名				

11 月度例会報告



今年は暖かい日が続き過ぎやすさを感じていた所、前日からの急な冬の到来で、朝は氷点下となり冬支度に追われる中、11月の第1例会が、14日(木)に東山荘 大講堂で18時30分より、井田伸太郎 Ys の司会進行により執り行われました。

会長の点鐘で開会、ワイズソング、ワイズの信条を声高らかに歌い、そして誓い合う。今月の聖句では大和田浩二 Ys がルカによる福音書 5 章 31 節の「イエスはお答えになった。医者が必要とするのは、健康な人ではなく病人である」を古きユダヤの徴税人の話をし、解いてくれた。

高杉会長より、この所めっきり寒くなって来ましたので、皆様方にはお身体には十分注意をして、ワイズ活動に励んで戴きたいとの挨拶があり、更に10月27日に行われた富士山部会に於いては、御殿場クラブが会員増強部門で表彰を受けたとの報告があった。

ゲスト・ビジター紹介では、今日の例会に特別ご参加を戴いた青木富士山部長の紹介があり、更に本日の卓話者 大正琴の皆様方10名の紹介と、入会希望の三木浩己様の紹介が成された。

青木富士山部長からは、北海道十勝クラブ訪問のお話しをして戴きました。



今月の食前感謝は木村朗 Ys です、次期富士山部を預かるに当たり、既に行事予定等事業計画等進められているので、皆様方のご協力をお願いしたいとお話がありました。

美味しいロイヤルカレーに舌鼓を打ち、さて、いよいよ本日の卓話者 総勢十名での【琴静流 御殿場会】の皆様方による 大正琴の演奏が始まる。[みかんの花咲く丘] から始まり [富士の山] [青春時代] [高校三年生] など 皆で共に歌い、東京ラブソティまで11曲、更にアンコールに応じて、大正琴の代表曲である [影を慕いて] を聴き楽しい一時を過ごさせていただき、大正琴の皆様方に感謝です。



誕生祝いでは8名、結婚記念日では2名、の皆様が会長より記念品を受ける。

例会終了後、クリスマス例会と、奈良クラブ訪問の打ち合わせを行い終了する。

杉山 将己



命のパネル展に参画して

広報 田代 泉

平成二十五年九月十二日から十五日まで生きたくても生きられなかった時代があった事を知ってほしいをテーマに戦没者遺骨収集に見る「いのちの写真パネル展」が市民会館展示ホールで開催された。昨年九月に菊川市で開催されていたパネル展を見学に行った際茶毘に付され集められた頭蓋骨の写真を見て戦争の惨さ残酷さを感じた。その衝撃を多くの人、特に子供達に知って貰い二度と戦争の無い社会を作って貰いたく計画した。

平成二十五年九月十二日午前九時、市遺族会三役四人

と支部長二名他役員顧問計一〇名がパネル展準備の為市民会館地下駐車場に集合、資料提供者は鈴木様を始め浜松・静岡・三島・清水町・神奈川県より六名の方が応援に駆け付けられた。応援に見えた方は浜松より新幹線利用できた方を含め交通費等自己負担のボランティアで、この事業のよき理解者と同時に鈴木さんに心服している人でなければ参加しないと思う。

会場に荷物を運び込み荷解きパネルの展示等常に協力しているだけ有って手際良さは抜群、僕達は机・腰掛運び等のお手伝いに追われ、二時間ほどで作業が終了。

展示物を見直していると一枚の展示物の前に一瞬釘付けにされた。説明は比島パレテ峠付近とされて居りその場所で父が戦死した事になっている。母の話では沼津霊山寺で渡された白木の箱には何も入っていなかった。父の死を教えに来られた戦友は東北の人で住所氏名を母がいくら尋ねても教えて貰えなかったそうだ。陣地を爆撃された際、爆風で飛ばされて死んだ父との会話で、もし二人が生きて帰れたら妹が戦友の長男に嫁ぐ事になっていたと話して帰られたそうだ。爆撃が父を殺し二人の夢も飛ばしてしまった。当時勝負あったの状態でたまたま爆撃がある程度で前線のように銃撃戦は無かったとの事で想像するに仮埋葬された父が掘り出されパネルの写真の内には有ると思うと鈴木さんの創られた写真集の一文

「激戦の末に たおれし我が父は 山野にさがせど今はなく かぞえし年月 長き日に御魂ぞ還へる 母国の里」

が身に沁みる。近い内に千鳥ヶ淵墓苑に参拝しよう。

見学者の対象・場所・PRの方法等を検討、対象は小中学生・遺族会員・その他市民。場所は市民会館か福祉協議会か迷ったが、対象が学生につき交通の便が良い市民会館にした。PR方法は平和への道標マップ配布の手法を参考に学校関係・支所・報徳社関係・郷友会・富士学校・三駐屯地に今回は市の回覧板利用を追加、市の学校長会議に外木会長が出席し趣旨を説明。パンフレット等配布の了解を得て市内三高校六中学校一〇小学校を三役で校長先生もしくは教頭先生に面談。パンフレット類を直接手渡し学生の見学を依頼した。夏休み寸前につき、休み前の配布を心掛けた関係で忙しかった。

今回追加した回覧板数は市内で二八五二枚、区数六〇、回覧板に必ずパンフレットを添付して頂くよう通知書をポストインせず、必ず会って手渡した。

結果は会期三日半で見学者六一四名、十三日には御中滝口校長先生と生徒六十名教育委員会高橋次長、西中遠藤校長先生、十四日伊東市立伊東南中学校大川校長先生、南中土屋教頭先生、原里中勝又校長先生十五日には若林御殿場市長の見学もあった。

初めての事なので見学者に対する対応等充分ではなく、今後の反省材料として検討していきたい。



東山荘期間限定キャンペーンのお知らせ

2013年11月1日～2014年3月31日

(年末年始期間を除きます)

グループ・仲間・ご家族でご利用いただけます

- ・ ウィンター学生プラン (1泊2食付10名様～)
小学生 ……5,000円
中・高・大学生 ……6,000円

※5・6号館限定

- ・ ウィンター・ロッジプラン
貸切は15名様から 素泊まりお一人様
大人 ……5,250円

人気のロッジに、お仲間では是非どうぞ!

上記の他、ツインルームご宿泊、会議室割引のプラン、お食事のお得なプラン等がございます。詳しくはお問合せください。

月の砂漠

1. 月の砂漠をはるばると
旅のラクダがゆきました。
金と銀とのくら置いて
ふたつならんでゆきました。
2. 金のくらには銀のかめ
銀のくらには金のかめ
ふたつのかめはそれぞれに
ひもで結んでありました



「野球とは人生そのものだ！」これは元巨人軍の、長島茂雄さんの名句です。先日終了した日本シリーズでは、毎日熱戦が繰り広げられ？いやいや我が巨人軍は、東北楽天に対して打線が振るわず、苦戦苦戦の毎日でした。しかし、さすが去年の覇者です、3勝3敗の五分、お互いに一步も譲らずに最終7戦目、自分は祝杯の準備を早々に整えて、テレビの前に静座して、観戦モードに入りました。実は前日の6戦目には田中将大投手を打ち負かし、彼の連続勝利をストップした我が巨人軍、一喜一憂しながら勝利の瞬間まで、ストレス発散の連続でしたので、『夢よ再び！』と思いつつテレビの前に座ったのです。

しかし、その日、ドラマは起こりませんでした。祝杯のつもりが残念会になってしまったのですが、楽天を応援する方々を見て、(巨人応援団の私としては非常に悔しかった)「今年は、東北楽天の優勝がふさわしい年だったのだ。」と少し感傷的になってしまいました。

ペナントレースの一試合一試合の積み重ねがクライマックスシリーズに繋がり、それが又、日本シリーズに結びつくのです。幼児が一步歩いた時の周囲の感動を思い出しますが、その一步が人生のスタートです。次の一步、又次の一步、人間は命ある限り歩き続けます。精神的にも同じ事が言えるのではないのでしょうか？

野球のルールは、投げる・打つ・走る・取る、という単純なことが基本です。自分の今までの人生を野球に当てはめると、オギャーと生まれてすくすく縦も横も成長し、高校・大学と過ぎ、平凡な結婚をしたはずが、ちょっと苦しい時期がありました。そして、子供を育て上げ、今は孫の成長だけが楽しみな毎日を送っていますが、野球と同じように単純な人生を送ってきました。時々トラブルやハプニングに巻き込まれながら・・・

これが野球と同じなのでしょう。

私の人生はまだ続きますが、「そういえば、居た居た！」と一人でも私を覚えている人がいるように、平凡でもいい。でも自分の出来ることを無理せず、実行して、クライマックスシリーズを迎えたいと節に祈ります。

杉山 博恵



BFだより

2013年10月31日集計分
&
2013年11月30日集計分

不要になったものを再生する機能を十分に発揮して？当クラブではプルリング(プルタブ)や使用済み切手の収集を心がけています。

10月度は、駒谷ワイズが使用済み切手を届けてくださいました。

11月度は、井田ワイズがプルリング450グラムと若林久美子ワイズが600グラムを、

また、駒谷ワイズと杉山将己ワイズが使用済み切手をそれぞれ届けてくださいました。

なお去る11月5日小山町福祉協議会にプルリングを2700グラム届けました。

ご協力ありがとうございました。

手紙が来たら先ず切手を切って・ジュースやビールを飲んだら先ずプルリングを・・・合言葉に収集を！！

東山荘ワイズメンズクラブのお知らせ

ご存知の方も多いかとは思いますが、東山荘では、12月30日から1月3日まで、年末年始家族パーティーという催しを行っており、家事の煩わしさから離れて、ゆっくりと楽しいプログラムを味わうことができます。日帰りや、部分参加も可能ですので、詳しくは東山荘にお問い合わせください。

この期間中に、例年1月2日の午後1時より1号館(斉藤記念館)第1会議室にて、東山荘ワイズメンズクラブの例会が行われます。年末年始家族パーティーに参加されたワイズや、このために集まったワイズが全国から参加されます。

せつかく御殿場クラブのホームグラウンドで行われるので、皆さんも是非ご参加を。

参加費は、お茶菓子代の約2千円程度です。

詳細は、12月の第2例会にてお知らせいたします。